

# 緑の風

JRW JR東労組  
NEWS



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2023年4月25日 No.142

## 福知山線脱線事故から18年 私たちの手で安全哲学を再確立しよう！

### ◆事故調は、福知山線脱線事故の原因の一つを「日勤教育」と指摘

2005年4月25日、JR西日本福知山線脱線事故が発生し、運転士を含めて107名の方々が犠牲になりました。今年で18年が経過します。

直接的な原因は制限速度を大幅に超えてカーブに進入したことですが、背後要因として国土交通省航空・鉄道事故調査委員会(当時)は「**運転士にペナルティであると受け取られることのある日勤教育又は懲戒処分を行い(中略)同社の運転士管理方法が関与した可能性が考えられる**」と原因を指摘するとともに、「**実践的な運転技術に関する教育を充実させるなど、精神論的な教育に偏らず、再教育にふさわしい事故防止に効果的なものとすべき**」との所見を公表しています。

JR西日本は事故後、事故やミスで列車が遅延しても処分しない制度を導入したり、再教育の所要日数を明確化するなど、全国的に日勤教育の見直しが進みました。



### ◆懲罰的な日勤教育に逆戻りするかのようなJR東日本

一方、JR東日本では2022年度に国府津運輸区や宇都宮運輸区で行われた懲罰的な日勤教育によって、**組合員が自殺を考えるまで追い込まれたり、医療保護入院に追い込まれる事態**となっています。内容も、**社会人としての“マインド”を問うものなど、ミスの再発防止とは関係のない精神論的な内容**を含む教育が1ヶ月以上もなされ、いつ終わるのかも乗務復帰できるのかも分からない状況は、懲罰的でハラスメントとしか言いようがありません。

しかし団体交渉で会社は、「パワーハラスメントの認識はない。」「熱のこもった適正な指導の範囲」などとハラスメントを容認し、正当化しています。



**懲罰的な日勤教育では安全を守れない！**

**「責任追及から原因究明へ」の安全哲学を再確立しよう！**